

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会
大原支部報
 第72号

発行日 平成30年3月15日
 発行 笠間市社協大原支部
 編集 大原支部広報委員会
 印刷所 有限会社 テクノプラン



縄もじり



あやとり



おはじき



紙ひこうきつくり



ビー玉



茶道



輪投げ



けん玉



風つくり



花つくり



はねつき



コマ回し



竹馬乗り



グラウンドゴルフ

学校・地域の連携
『三世代ふれあいの集い』
 大原支部社協主催、大原小学校共
 催による「三世代ふれあいの集い」
 が11月1日（水）に大原小学校体育
 館、校舎中庭、校庭を使い、全児童
 1年生から6年生が縦割り班に分か
 て真剣に取り組んでいました。

第14回大原地区文化祭
 住民・児童の277作品展示

今回も地域の方々が創作
 した絵画・書・写真・手芸など、
 74人から出展があり、97点
 の多彩な作品が寄せられま
 した。
 これに大原小学校児童の
 作品を含め277作品が多目的
 ホール一杯に展示され、なか
 には油絵の大作、陶芸、彫
 刻など玄人はだしの巧みな
 作品もありました。
 毎回新たな出展者がいて、
 作品の種類にも変化がある
 ようです。
 さて、今回はどんな作品
 が見られるのか楽しみです。



第14回大原地区文化祭「大
 原文化振興会主催」が、昨
 年11月26日から12月8日ま
 で13日間大原小学校で開催
 されました。
 この文化祭は市教育委員
 会の後援、大原小学校の協
 力により開催しているもの
 です。

日本のこころのうたミュージアム 船村徹記念館

高齡者見学会

今年度の高齡者見学会は、10月19日、25日、30日の3回で110名の参加により実施されました。
船村徹記念館は、平成27年に道の駅日光にオープンしました。船村徹は、平成29年、享年84歳で死去されました。栃木県塩谷郡船生村で誕生し、生まれ故郷の船生村からと初志貫徹から徹をとって「船村徹」としたそうです。



2017年10月19日 会場記念
日本のこころのうたミュージアム 船村徹記念館
Museum of Japanese heartful songs 船村徹記念館

おおはろの子

「たこ」をあげたよ

1年 し水 せいしろう
生かつかのじかに、たこをつくりました。たこに、ドラえもんのかきまわりました。そとに出て、ならんではしりました。かぜがふいたしゆんかんに、たこはあがりまわりました。おもつていたよりまたかかあがつて、たのしかったしおもしろかったです。

かいきげつしよく

1年 山口 めいさ
きのうのよる、かいきげつしよくをはじめて見ました。「スーパードラゴンボール」です。さいしよは、まるくてあかるい月でした。



記念館の中に入ると夢劇場、3D劇場があり、日光の美しい四季や船村徹の代表曲を大迫力の3Dグラフィック映像で楽しみ、この歌も、あの歌も、この人が作曲したのだと驚きました。

「別れの一本杉」が大ヒットし、作詩した高野公男さんとの友情やエピソードが映像で紹介されていました。高野さんといえば、笠間出身で参加した方は、自分の事のように喜んでいました。何年何十年経っても飽きることない日本のこころのうたの作曲家です。楽しい一日でした。

蘭学めぐり 支部役員研修会

平成29年12月6日（水）に、支部公民館主催の歴史出前講座の蘭学めぐりに、22名の支部参加者と行って来ました。
千葉県佐倉市の、城下町佐倉の暮らしがわかる武家屋敷、蘭学医院としての佐倉順天堂記念館、国立歴史民俗博物館を見学しました。

武家屋敷は3棟あり、上中下級武士の家の造りの違いがよくわかりました。
佐倉順天堂記念館には昔の手術道具があり、無麻酔で行っていたことには驚きました。
最後に国立歴史民俗博物館では、古代から現代まで6つの展示室に分かれてあり、ゆつくり見るには時間がなく、ちよつと残念でした。

きんちようしたよ

3年 水上 凜心
クラスの発表会で、「どんなマクでしよう」クイズを発表しました。さい初はきんちようしたけれど、だんだん楽しくなり、みんなが答えてくれて、とてもうれしかったです。
三年生での一年間

3年 國谷 依愛
今年の一年間でできるようになったことがふえ、みんなを助けられるようになりまし。やさしい気持ちでみんなに配ることができ、やさしいクラスにできました。

金管バンドは楽しいな！
3年 かば山 なつき
金管バンドを始めてから一年ぐら



第10回ゴルフ大会

第10回ゴルフ大会が11月15日（水）扶桑カントリー倶楽部を会場に開催されました。
この大会は地域交流事業として平成20年に初めて開催し、今回が10回の節目の大会となりました。
各区から14組47名の参加があり、小春日和のいい天気恵まれ、優勝



を目標しプレイしました。また、日頃社協の事業活動に協力している方々が、大勢参加し親睦を図ることができました。

ホールアウト後は軽食をとりながらの成績発表。優勝は寺内和彦さんで、昨年の吹野健司さんに続いて久保下寺区から2年連続の優勝者となりました。さらに第三位およびベストグロ賞も片見政嗣さんが獲得し、久保下寺区が上位を占めました。
成績は次のとおりです。

優勝 寺内 和彦 (久保下寺)
準優勝 須藤 憲一 (本内)
第三位 片見 政嗣 (久保下寺)
ベストグロ賞 片見 政嗣(久保下寺)

5年 綿引 遥花
九月十六日は、秋季大運動会でした。高学年として、朝から準備が忙しく大変でしたが、仲間の力を借りながらがんばることができました。また、こう白対こうリレーでは、友達や地いきの方々が、一生けん命応援してくださったので、最高の力を出すことができました。

5年 岩間 萌空
私の一番の思い出は、うどん作りです。こしが強く、もちもちのおいしいうどんができました。みんなで食べた絶対おいしい思い出でした。みんなで協力して、がんばって作ったうどんは、忘れられない味でした。また、みんなで作りたかったです。



編集委員 中村 晃
須藤とも子
高安 克巳
郡司 千代

おもいやりの心を育て、
生きがいのある福祉のまちを
つくりましょう。

へあとかぎ

ピョンチャンオリンピックも終わり、日本中に感動を与えてくれました。庭のクロッカスが咲き、春の足音も聞こえ始めました。
高校生や中学生が卒業し、小学生も残り少ない学校生活となりました。

新一年生はランドセルを背負う姿が待ち遠しいことでしょう。車を運転する者として、悲しい交通事故に子供たちを巻き込むことがないように、安全運転を心がけましょう。